



FUKUSHIMA21RCNEWS

ロータリー:
変化をもたらす

第41回例会 通算第808回(5月31日)

【5月は青少年奉仕月間です。】



出席報告

【会員数】	50名
【出席者】	30名
(メキャップ15名)	
【出席率】	91.8%
【出席免除者】	6名
【休会者】	1名

気象データ

【天気】	曇り
【最高気温】	26度
【最低気温】	17度



本日のプログラム

- 開会点鐘
- ロータリーソング齊唱
- 4つのテスト唱和
- 会長挨拶とお客様紹介
- 特別記念講演
- 閉会点鐘



本日のお食事

松花堂弁当
ご飯・味噌汁
茶碗蒸し

今月のプログラム

- 5月 3日 (木) 休会
 5月 10日 (木) クラブ協議会④
 サンパレス福島
 18:30 ~ 19:30
 17日 (木) 福島駅西口清掃活動
 福島駅西口
 6:00 ~ 7:00

発行:福島21ロータリークラブ会報委員会
委員:藤野圭史 素谷悦功 村井弘樹・プログラムは変更になる場合があります。
・終了したプログラムは赤色で表記しています。

24日 (木) 親睦例会(お誕生会)

サンパレス福島

18:30 ~ 20:00

31日 (木) 会員スピーチ

サンパレス福島

18:30 ~ 19:30

Love People Work and Nature

人を愛し、仕事を愛し、自然を愛する

特別記念講演



公益社団法人日本詩吟学院
理事長

講師 大山 岳莊様

演題「明治戊辰と白虎隊」

【解説】

明治元年、戊辰戦争の時、会津落城の際、飯盛山に自刃して難に殉じた白虎隊の壮烈な最後を詠じたもの。

白虎隊は戊辰戦争の時、西軍の攻城に備えて、会津藩で藩士の子弟のうち十五歳から十七歳までの者を選んで編成した少年隊の名。隊長は日向内記。土中・寄合・足軽の三隊があった。土中白虎は一隊三十八人。そのうち飯盛山に登ったのは十六人、この十六人と場所を異にして四人、それぞれ自刃したが、一人動脈をはずれて蘇生した。そのため、白虎隊の墓は十九名となっている。(語釈参照)

この詩は、その白虎隊の少年たちを惜愛し、その事績を伝えようとしたもの。官軍の攻撃に対する少年たち、大軍に立ち向かう少年たち、戦いかつ退き、ついに散っていく少年たちの模様をつぶさに詠じている。なお、この詩は、詩中にもあるように、事後十七年、白虎隊の事績を回想して詠じている。

【通釈】

明治元年戊辰の役に、会津藩氏の少年たちは団結して白虎隊を編成し、会津藩の国運に一大事の迫った時、とりでを守ったのである。西軍は大軍となって突風嵐のように押し寄せた。殺気はあたりにみなぎってものすごく、ために昼なお暗い有様である。西軍の陣太鼓の音は百雷の轟くように鳴りわたり、撃ちだす大砲はやむことなく、戦死者のしかばねがしだいにうず高くなっていた。だが、少年たちは決死の勇を奮って敵陣に突入、怒髪天をつくばかり、縦横に奮戦し、一方に血路を開いた。だが、いかんせん、多勢に無勢、時はわれに不利となり、戦いも退かざるをえなかった。いずれも数か所の傷口を繻帯に包み、口に気つけ薬を含んで、さて、いずれへいこうかと、あたりを見わたせば、前後いずれも皆屈強の敵、どこに進路をとるべきかわからない。よろける身を剣でささえつつ、間道伝いに敵の目をぬすみ、ようやく飯盛山に登った。登りつく間ももどかしく、南の方、鶴ヶ城を望むと、城は砲火に包まれて黒煙がもうもうと上がっている。ついに、落城、主君も自刃されたか、と一同あまりの無念さにがっくりと涙をのみ、ゆきつもどりつ丘の樹間をさまようばかり。「ついにわが藩は亡んだ。われわれ臣士のつとめもこれまで。こうなれば、主君に殉ずるのがわが道」と少年たちは刺し違えて死ぬもあり、わが刃に伏すもあり、ここに全員若き命を散らしたのである。

顧みればそれより今日まで十七年。この痛ましい最後を、人は画にし文にして伝えてきた。その忠勇義烈の精神はつい昨日のように人の胸をうち、今に光輝を放って止まない。かの斎王田横が死んだ時、その日頃の知己の恩に報いようと、その麾下五百人が一時に後を追って死んだが、白虎隊の少年たちの死は壮絶悲痛なること、それを凌ぐものがある。

■スマイリング BOX ■

【福島 RC】佐藤美奈子副会場監督

【福島南 RC】大橋廣治バストガバナー、大野順道バスト会長、丹治洋子副会場監督

【福島 21RC】望木昌彦会長、宗形守敏初代会長、佐藤信博バスト会長、山口和吉、船谷悦功、上西裕信バスト会長、小林利光、佐々木廣亮バスト会長

藤野主史、佐藤敬、氏家健、藤口静克、若穂田四平、野崎正広バスト会長、本柳春男、大波紀仁、木村幸二バスト会長、松本和彦会長エレクト

渡辺浩子バスト会長、橋内美智夫、野田信光、渡部敏、梅津茂巳、渡辺和弘、丹治将弘

■財団 BOX ■

望木昌彦会長、船谷悦功、小林利光、藤野主史、氏家健、若穂田四平、本柳春男、大波紀仁、松本和彦会長エレクト、渡辺浩子バスト会長、伊東優子

野田信光、渡部敏、梅津茂巳

■米山記念奨学会 ■

望木昌彦会長、藤野主史、氏家健、大波紀仁、渡部敏、梅津茂巳